

平成29年度

# 事業報告書

平成29年 4月 1日から  
平成30年 3月31日まで

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

# 目 次

(平成29年度事業報告書)

## I. 公益目的事業

- |                      |     |       |
|----------------------|-----|-------|
| (1) 展示事業             | ・・・ | 1ページ  |
| (2) 教育普及事業           | ・・・ | 7ページ  |
| (3) 資料収集・調査・整理・保管事業  | ・・・ | 13ページ |
| (4) 芸術文化活動の支援・鑑賞事業   | ・・・ | 16ページ |
| (5) 芸術文化活動のための施設貸与事業 | ・・・ | 20ページ |
| (6) サポーター運営事業        | ・・・ | 20ページ |

## II. 収益等事業1

- |              |     |       |
|--------------|-----|-------|
| ミュージアムショップ事業 | ・・・ | 21ページ |
|--------------|-----|-------|

## III. 収益等事業2

- |        |     |       |
|--------|-----|-------|
| 施設貸与事業 | ・・・ | 21ページ |
|--------|-----|-------|

## IV. 収益等事業3

- |              |     |       |
|--------------|-----|-------|
| 伝国の杜ファンクラブ事業 | ・・・ | 22ページ |
|--------------|-----|-------|

## V. 管理部門

- |      |     |       |
|------|-----|-------|
| 管理部門 | ・・・ | 22ページ |
|------|-----|-------|

I 公益目的事業  
地域における歴史・芸術文化の振興を図るための事業

**1 展示事業**

(1) 米沢市上杉博物館展示事業

①企画展示

米沢市上杉博物館企画展示室において年間6本の企画展を開催した。また、利用者が展覧会の理解をより深められるよう講演会、ギャラリートークを適宜実施した。平成30年度以降開催予定の企画展の準備も進めた。

i) 特別展「戦国時代展 - A Century of Dreams -」

会 期：平成29年 4月29日（土・祝）～ 6月18日（日）

開催日数：50日間

入場者数：21,042名

主 催：米沢市上杉博物館、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、京都府、京都府京都文化博物館、読売新聞社

協 賛：日本写真印刷

戦乱によって国の秩序が大きく乱れた時代というイメージを覆し、各地の戦国大名の成長が成熟した京都文化の伝播を地方にもたらし、新たな地域文化として再生産され、さらに担い手が権力者だけではなく、商職人や村落住民まで広がった文化的・経済的な実りをもたらした時代として捉えなおし、列島各地で生成された歴史資料や美術工芸品を一堂に会した。上杉氏に留まらない、全国規模での展示とすることができた。

ii) 企画展「生誕100年 遠藤桑珠」

会 期：平成29年 6月24日（土）～ 7月23日（日）

開館日数：29日間

入場者数：4,638名

協 力：株式会社桑珠庵

米沢市出身の日本画家で、長く日展で活躍した遠藤桑珠の回顧展。日展における70年近い画業を中心に紹介したほか、最初期の院展入選作・スケッチ・米沢市民文化会館緞帳の原画など、幅広く作品を展示した。日本・メキシコ・ヨーロッパなど多様な文化と風土への取材から生まれた作品の魅力を市民に再認識してもらう機会となった。

iii) 企画展「ドールハウスへの招待Ⅱ

～見て学ぶ 世界のドールハウス～大草原のローラ生誕150年記念～

会 期：平成29年 7月29日（土）～ 9月18日（月・祝）

開催日数：51日間

入場者数：12,862名

協 力：箱根ドールハウス美術館／株式会社ピエロタ

生誕150年を迎えた「大草原の小さな家」の原作者ローラ・インガルス・ワイルダーと同時代、同地域で制作された貴重なアンティークドールハウスを核に、アメリカ西部開拓時代の暮らしやローラの家族の物語を紹介した。さらに、イギリスや日本の現代作家の作品を一堂に展示し、ミニチュア世界の面白さを十分に体感してもらった。また、アンティークドールハウスのバーチャルリアリティを導入することで展示に奥行きが生まれ、来館者に喜ばれた。

iv) 特別展「上杉家の名刀と三十五腰」

会 期：平成29年 9月23日（土・祝）～10月22日（日）

開催日数：30日間

入場者数：13,473名

主 催：米沢市上杉博物館、埼玉県立歴史と民俗の博物館、  
公益財団法人佐野美術館、文化庁

後 援：米沢信用金庫

かつては上杉家所蔵であったものの、現在各地で守り伝えられている上杉謙信・景勝ゆかりの刀剣を中心に上杉家重代の名刀を一堂に集め紹介した。文化庁をはじめ関係機関、個人のご協力により、上杉家伝来の名刀が並ぶ空前の機会となり、その見応えに満足の声が多かった。市民はじめ上杉家および刀剣に興味ある方、また昨今刀剣女子と呼ばれる若い女性で連日賑わった。短期間の開催であったが、地方の博物館としては予想以上の入館者を得ることができた。

v) コレクション展「初公開 上杉家ゆかりの名品と地域の歴史を語る資料」

会 期：平成29年10月28日（土）～平成30年 1月14日（日）

開催日数：67日間

入場者数：11,565名

平成18年以来の新収蔵品展として、過去10年分の収集資料のうち、歴史資料を中心に全て初公開の資料を展示した。併せて、博物館の基本的な役割でありながら普段はなかなか目にする事の少ない資料の収集、整理、目録化、保存、修繕などについても紹介した。未整理資料の整理促進、資料情報の発信の機会となった。

vi) コレクション展「米沢ゆかりの絵師たち パート4」

会 期：平成30年 2月 3日（土）～ 3月18日（日）

開催日数：38日間

入場者数：3,490名

「米沢ゆかりの絵師たち」シリーズの第4弾として、米沢の近世絵画についてお抱え絵師目賀多家の作品を中心に紹介。作品と合わせて、新収蔵の粉本や藩士としての仕事内容がわかる資料を展示することで、「絵師」という職業や画技修練の姿を垣間見、絵師のイメージを膨らませてもらうことをめざした。

vii) 次年度以降の展覧会の準備に関すること

平成30年度以降の展覧会に備え、下記の準備を行った。

- ・直江兼続展開催のための資料調査、打ち合わせ
- ・「岩合光昭どうぶつ写真展」開催のための打ち合わせ
- ・後藤克芳展開催のための打ち合わせ
- ・戊辰戦争と米沢展開催のための資料調査

②常設展示

米沢市上杉博物館常設展示室の運営を適切に行った。

同展示室内の上杉文華館では「謙信を生んだ一族・長尾氏」を年間テーマに、国宝「上杉家文書」を中心とした資料から、越後守護代長尾氏の歴史を12の小テーマで紹介した。

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」は、春（４月２９日（土・祝）～５月２８日（日））と秋（９月２３日（土・祝）～１０月２２日（日））に原本を展示した。

また、東海市の小学生の来館（平成３０年２月１０日）にあわせ、常設展示室にコーナー展示「上杉鷹山と細井平洲」（１月１６日～３月１８日（日））を設けた。

入場者数：７２，３４３人

◇上杉文華館スケジュール

i)	３月２８日（火）	～	４月２８日（金）	「室町幕府のもとで①細川高国と」
ii)	４月２９日（土祝）	～	５月２８日（日）	「室町幕府のもとで②特権付与」
iii)	５月２９日（月）	～	６月２７日（火）	「室町幕府のもとで③贈答」
iv)	６月２９日（木）	～	７月２５日（火）	「為景、越中へ」
v)	７月２７日（木）	～	８月２２日（火）	「越中の攻略」
vi)	８月２４日（木）	～	９月２６日（火）	「外征の苦悩」
vii)	９月２８日（木）	～	１０月２４日（火）	「為景への期待～関東から」
viii)	１０月２６日（木）	～	１１月２１日（火）	「文化交流」
ix)	１１月２３日（木祝）	～	１２月２４日（日）	「越後武士を支配下へ」
x)	１月 １日（月祝）	～	１月２８日（日）	「為景の苦境」
xi)	１月３０日（火）	～	２月２５日（日）	「朝廷を頼りに」
xii)	２月２７日（火）	～	３月２５日（日）	「兄晴景」

◇常設展示室コーナー展示「上杉鷹山と細井平洲」展示資料

上杉鷹山書「神督学七袞寿詞」	１幅	米沢市上杉博物館蔵
細井平洲書「羽嶺長雲望再新」	１幅	米沢市上杉博物館蔵
細井平洲画・讃「春山山水図」	１幅	米沢市上杉博物館蔵
普門院絵葉書	８枚	米沢市上杉博物館蔵

(２) 市立米沢図書館展示事業

郷土の先人たちを称える先人顕彰コーナーにおいて年間６本の展示を開催した。郷土資料コーナーでは古典籍や古文書等所蔵資料をもとにした展示を行った。また、利用者の理解に資するため、講演会や講座を実施した。

①先人顕彰コーナー

i) 「藁科松伯展」

会 期：平成２９年 ４月２８日（金）～ ６月２１日（水）

開催日数：５４日間

上杉鷹山の素読師範であり、鷹山の師範に細井平洲を推薦した藁科松伯の功績について紹介した。市立米沢図書館所蔵の「藁科家文書」を中心として、松柏の遺書や鷹山の送別詩、貼り合わせ屏風などを展示した。また、米沢市上杉博物館で収蔵する肖像画や血判誓詞を写真パネルで展示した。

ii) ナセＢＡ開館１周年記念「米沢図書館展」

会 期：平成２９年 ６月２３日（金）～ ８月２３日（水）

開催日数：６１日間

ナセＢＡ開館１周年記念として、これまで「米沢図書館」が歩んできた歴史を示す展示を行った。財団法人として開館した当館はナセＢＡで４代目になる。初代の図書館（法泉寺脇）からの歴史を、所蔵する写真や日誌、蒐集資料とともに紹介した。また、当館の古

典籍・古文書蒐集には2代目館長の伊佐早謙の功績が多であり、氏についても併せて紹介した。

iii) 「洋画Ⅰ 椿貞雄展」

会 期：平成29年 8月25日（金）～10月25日（水）

開催日数：61日間

米沢出身の画家椿貞雄を取り上げた展示。米沢市上杉博物館収蔵の「晴子像」、「朝子像」、「雉と夏みかん」、「春夏秋冬喜楽図帯」などの作品のほか、スケッチブックやデッサンも展示し、作品の制作過程も紹介した。

iv) 「我妻榮展」

会 期：平成29年10月27日（金）～12月27日（水）

開催日数：63日間

平成28年度に開催した「伊東忠太展」に続き、伊東の次に米沢市の名誉市民となった民法学者我妻榮の人物像や業績の一部を紹介した。展示は、我妻榮記念館の所蔵資料を中心に、山形県立図書館の「縣人文庫」及び米沢市上杉博物館で収蔵する資料を加えた内容とした。

v) 「図書館の絵図展3 学館（興讓館）絵図と武芸所絵図」

会 期：平成30年 1月 4日（木）～ 1月24日（水）

開催日数：21日間

当館で所蔵する学館（興讓館）と武芸所を描いた絵図（平面図）を展示し、米沢藩の学問と武芸奨励について紹介した。学館絵図は安政4年（1857）のもので、聖堂や講堂、食堂、教授所、寄宿舎等の建物や通学生用の友于堂、医学館の好生堂も描かれている。

vi) 「洋画Ⅱ 土田文雄展」

会 期：平成30年 1月26日（金）～ 3月21日（水・祝）

開催日数：54日間

米沢出身の画家である土田文雄を取り上げ、米沢市上杉博物館収蔵の作品から「雨の前」、「鎌倉の海」、「黄衣」、「登り路」の4作品を展示するとともに、土田が描いたスケッチブックも併せて展示した。

②郷土資料コーナー

i) 「飯糧集」<sup>はんろう</sup>（林泉文庫610）

会 期：平成29年 3月 1日（水）～ 4月30日（日）

開催日数：59日間

天明3年（1783）の飢饉の際、米沢藩医14名が藩の命により飯の糧（かて）になる草木を調べて記した「飯糧集」を展示紹介した。

ii) 「沙石集」<sup>しゃせき</sup>（米沢善本152）

会 期：平成29年 5月 1日（月）～ 6月30日（金）

開催日数：59日間

新編日本古典文学全集（小学館）の底本として名高い「沙石集」の展示を行うとともに、収録されている鎌倉時代の説話についても触れた。

iii) 「流虬<sup>りゅうきゆう</sup>百花譜」(米沢善本178)

会 期：平成29年 7月 1日(土)～ 8月31日(木)

開催日数：60日間

米沢藩が招聘した本草学者佐藤平三郎成裕が沖縄の植物を描いた図譜「流虬百花譜」を紹介し、併せて東京都立中央図書館所蔵の「流虬百花譜」の複写本も並べ、その編集に米沢藩士が関わっていたことを示した。

iv) 「第28回 古典文学講座にあわせた展示」

会 期：平成29年 9月 1日(金)～10月31日(火)

開催日数：59日間

平成29年9月開催の古典文学講座でテキストとして使用した「枕草子春曙抄」(興譲館本 マー11)、「童子百物かたり」(吉田家文書267)、「鶴城四時歌」(地域史料)を展示した(いずれも市立米沢図書館所蔵)。

v) 「江戸道中絵図」(堀尾家文書21・22)

会 期：平成29年11月 1日(水)～12月27日(水)

開催日数：57日間

米沢から江戸、江戸から米沢までの街道(道中)の様子を描いた冊子体の絵図帳2冊を展示し、江戸時代の街道や宿場町の様子を紹介した。

vi) 「蝦夷<sup>えぞ</sup>曾谷<sup>そや</sup>日誌」(高橋しん家寄贈文書7)

会 期：平成30年 1月 4日(木)～ 2月15日(木)

開催日数：42日間

明治初期、米沢藩が蝦夷支配を命じられた際に藩士7名が北海道磯谷郡の調査を行ったときの日誌記録。時宜にあわせてアイヌの正月の風俗行事などを紹介し、展示を行った。

vii) 「東講商人鑑」(興譲館本ト37)

会 期：平成30年 2月16日(金)～ 3月31日(土)

開催日数：42日間

安政2年(1855)に出版された江戸時代の旅のガイドブック「東講商人鑑」を展示紹介した。特に、置賜の温泉地の様子を紹介した写真パネルが来館者から好評であった。

③郷土資料特集コーナー

米沢市上杉博物館の展示と連携して、特別展「戦国時代展」、企画展「生誕100年 遠藤桑樹展」、特別展「上杉家の名刀と三十五腰」、コレクション展「米沢ゆかりの絵師たち」の関連書籍を紹介すると共にブックリストを作成・配布した。また、先人顕彰コーナーの展示にあわせ、我妻榮・藁科松柏等に関連する書籍を並べブックリストを作成・配布し、「姉妹都市 沖縄」、「帝人と米沢」の特集コーナーを開設した。

(3) よねざわ市民ギャラリー展示事業

市内の芸術文化団体や米沢市上杉博物館と連携し、スライディングウォールの移動やオープンギャラリーの活用などギャラリーの機能を活かしながら展示を行った。

①よねざわ市民ギャラリー自主・共催事業

i) 「春・桜・祭展」

会 期：平成29年 4月 1日（土）～ 5月 3日（水・祝）

開催日数：46日間

来館者数：1,743名

「春」、「桜」、「祭」をテーマとした絵画・彫刻・書・写真・工芸などの作品を一般から募集し、米沢市上杉博物館収蔵の郷土にゆかりのある芸術家による作品（広瀬功や本間国生、遠藤賢太郎などの絵画）と併せて一堂に展示した。

ii) ナセBA開館1周年記念「ますむらひろしの世界展」

会 期：平成29年 7月 8日（土）～ 8月20日（日）

開催日数：46日間

入場者数：3,355名

ナセBAの開館1周年を記念する事業として、米沢市出身の漫画家ますむらひろし氏の作品展を開催した。多数の原画作品を通じて氏の40年以上にわたる作家活動の全容を紹介するとともに、ギャラリートークを2回、サイン会を4回開催し、いずれも盛況であった。また、物品販売コーナーを併設し、書籍や関連グッズの販売も行った。

iii) 「宮島詠士展」

会 期：平成30年10月17日（火）～10月22日（日）

開催日数：6日間

参加者数：355名

米沢出身の書家宮島詠士の生誕150年を記念し、詠士会との共催により実施した。展示は詠士会からの出品資料のほか、米沢市上杉博物館からの借用資料により構成。筆に水分を多く含ませ滲みをつくる詠士独特の作風を来館者に堪能してもらった。

iv) ARTS MEET OKITAMA 2018 & ARTS MEET OKITAMA 2017大賞 福崎 翼展

会 期：平成30年 3月17日（土）～ 3月25日（日）

開催日数：9日間

参加者数：2,520名

共 催：ARTS SEED OKITAMA、米沢市芸術文化協会

前年度に開催された「ARTS MEET OKITAMA 2017」のコンセプトを引継ぎ、置賜地域で活動する作家や作家志望者、また置賜出身の県外や他地域で活躍する人からも広く作品を募集した。会場には応募者91名の作品を展示し、作品を販売するショップを併設した。併せて、「ARTS MEET OKITAMA 2017」の来場者投票により大賞を受賞した福崎 翼氏の作品100点余を展示する「ARTS MEET OKITAMA 2017大賞 福崎 翼展」を開催した。

②オープンギャラリー展示事業

会 期：i) 平成29年 3月24日（金）～ 6月28日（水）

ii) 平成29年 6月29日（木）～ 9月27日（水）

iii) 平成29年 9月28日（木）～ 12月20日（水）

iv) 平成29年12月21日（木）～平成30年 3月21日（水・祝）



ナセBA1階の通路部分を「オープンギャラリー」とし、米沢市上杉博物館収蔵の椿貞雄、土田文雄、黒澤梧郎、浜田浜雄、後藤克芳の洋画、我妻碧宇、本間国雄、福王寺法林、遠藤桑珠の日本画、桜井祐一の彫刻作品から計6～7点程度を、3か月ごとに展示替えをしながら公開した。

#### (4) 米沢市座の文化伝承館自主事業

「写真とペーパークラフトで感じる『昭和の息吹』」

会 期：平成29年 5月24日(水)～ 6月 5日(月)〈休館日：5月30日(火)〉

開催日数：13日間

入館者数：1,466名

昭和の時代を様々な資料や視点で紹介しているが、29年度は中村隆行氏のペーパークラフトと小貫幸太郎氏の古写真で、昭和の仕事や暮らし、子ども達の様子を紹介した。メディアの関心も高く入場者増につながり、「蔵」の所在や魅力を発信できた。

## 2 教育普及事業

### (1) 教育事業

- ①プレイショップ（米沢市上杉博物館体験学習室・常設） 年間利用者数：10,304名  
日本の年中行事の紹介や月ごとの造形体験の充実や新プログラムの提供で、世代を超えて多くの方に楽しんでいただいた。今年度は年4回「能に親しむ」コーナーを設置し、能楽の普及につとめた。

清潔・安全・安心に十分配慮することはもとより、配布資料の見易さへの配慮や、体験学習室全体の利用しやすい雰囲気づくりを常に心がけた。また、定期的な勉強会で、知識の定着、造形技術の向上を計り、利用者により喜んでもらえる運営を目指した。

- ②ワークショップ（米沢市上杉博物館） 年間参加者数： 524名

#### i) 募集制プログラム

夏休みの特別プログラム、大人向けの鑑賞プログラムなどに加えて、地元の作家を講師とした造形プログラム、洛中洛外図屏風の原本展示にあわせたプログラムなどを展開し、多様なニーズに対応した。

活動13年目を迎えたチルドレンキュレーターズ（こども学芸員）は、「学芸員のしごと 資料調査とデータベース～収蔵品を知ってもらうために～」をテーマに活動し、栗林一雪コレクションの郷土玩具を中心に調書をつくり、データベース入力を行った。

(年間16プログラム実施・参加者291名)

#### ii) 自由参加制プログラム

「笹巻きっていいなあ」、愛の兜折り紙ボランティア会の協力による「かわりかぶとに挑戦」、伝国の杜サポーター・米沢とんとむかしの会の協力による「むかしむかしをきこう」を3回開催した。(年間3プログラム計5回実施・参加者233名)

- ③教育事業（市立米沢図書館） 年間参加者数：5,200名程度

#### i) 子どもの読書活動を推進する事業

「米沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、サポーターや外部ボランティア団体と連携しながら「おはなしかい」をはじめとした子どもや親子を対象とする読み聞かせ活動を行い、本と触れ合う楽しさを感じてもらうことを目指した。また、市内小学校へ巡

回しテーマ別の図書の貸出を行ったほか、「米沢市小中学生読書感想画展」を開催し、子どもたちの読書意欲を高めるとともに、柔らかな感性と豊かな想像力を育む事業を展開した。さらに、学校の夏休み期間に開催した「2017夏休みこども図書館フェア」では、読み聞かせやワークショップ、館内ツアーなど、本や図書館、読書への興味を促す催しを企画した。

◇ブックスタート

米沢市主催の7か月児健診の際、参加した親子を対象に読み聞かせを行い、絵本2冊をプレゼントした。(毎月1～2回開催、親子546組参加)

◇アタゴオルによる絵本読み聞かせ

市内の保育園やこども園へ自動車文庫「アタゴオル」で出向き、絵本の読み聞かせと本の貸出し体験を行った。(年間2回開催、4か所の保育施設の園児が参加)

(年間6事業実施・

読み聞かせ事業参加者1,360名程度、読書感想画展来場者2,100名)

ii) ワークショップ事業

秋の読書週間に合わせて「2017読書週間図書館フェア」を開催し、雑誌の付録抽選会やリサイクル市等蔵書を活用したイベント、本のフィルムコートや和綴じ本製作体験、館内ツアーなどを行った。

また、Book! Book! Okitama 実行委員会との共催で、亀山達矢氏(絵本作家 tuperatupera)によるワークショップを行い、お面づくりや亀山氏による読み聞かせが参加者に好評であった。(年間2事業実施・参加者473名)

iii) 多様な学びを提供する事業

古典文学や古文書などの所蔵する郷土資料を用いた講座や小学生を対象とした米沢の歴史講座を展開し、市民の学習活動の場としての図書館運営に努めた。特に「ふるさと歴史講座」では、「米沢藩の医学」をテーマに最新の研究成果も紹介した。

(年間4事業実施、参加者271名)

④講演会、トークイベントの開催

米沢市上杉博物館の3つの事業、市立米沢図書館の1つの事業、米沢市民ギャラリーの3つの事業で講演会やトークイベント等を開催した。詳細は下記のとおり。

i) 米沢市上杉博物館特別展「戦国時代展 - A Century of Dreams -」

トークイベント「戦国時代展を見る」

平成29年 5月13日(土) 14:00～17:00

齋藤慎一氏(江戸東京博物館学芸員) 西山剛氏(京都文化博物館学芸員)

長村祥知氏(京都文化博物館学芸員) 阿部哲人(米沢市上杉博物館主任学芸員)

参加者数: 75名

ii) 米沢市上杉博物館企画展「ドールハウスへの招待Ⅱ

～見て学ぶ 世界のドールハウス～大草原のローラ生誕150年記念～

『大草原のローラ物語: Pioneer Girl』出版記念講演会

平成29年 9月 2日(土) 14:00～16:00

谷口由美子氏(翻訳家)

参加者数: 64名

- iii) 米沢市上杉博物館特別展「上杉家の名刀と三十五腰」  
講演会「上杉家の名刀を語る」  
平成29年10月21日(土) 14:00～16:00  
角屋由美子(米沢市上杉博物館学芸主査)  
関口真規子氏(埼玉県立歴史と民俗の博物館主任学芸員)  
志田理子氏(佐野美術館学芸員)  
参加者数: 203名
- iv) 市立米沢図書館 先人顕彰コーナー「我妻榮展」  
記念講演「我妻榮(民法学者)と米沢」  
平成29年11月12日(日) 14:00～15:30  
我妻学氏(首都大学東京法科大学院教授)  
参加者数: 80名
- v) よねざわ市民ギャラリー1周年記念「ますむらひろしの世界展」  
◇ますむらひろし氏 ギャラリートーク  
平成29年 7月 8日(土) 16:00～  
平成29年 8月20日(日) 15:00～  
◇ますむらひろし氏 サイン会(いずれも13:00～)  
平成29年 7月 8日(土)、9日(日)、23日(日)、8月20日(日)
- vi) よねざわ市民ギャラリー自主事業「宮島詠士展」  
講演「宮島詠士の生涯」  
平成29年10月19日(日) 13:00～14:00  
角屋由美子(米沢市上杉博物館学芸主査)
- vii) ARTS MEET OKITAMA 2018 & ARTS MEET OKITAMA 2017 大賞展  
◇トークイベント「描く身体・飛ぶ身体」  
平成30年 3月17日(土) 13:00～  
小浅星子氏(2002～2014年 女子ジャンプ全日本ナショナルチーム所属)  
◇福崎翼ギャラリートーク(いずれも14:00～)  
平成30年 3月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)  
福崎翼氏(ARTS MEET OKITAMA 2017大賞受賞者)

#### ⑤地域・学校との連携

- i) 年間計画、公開研等学校状況のリサーチ(米沢市上杉博物館)
- ii) ミュージアムスクール、出前授業、ワークショップ総合学習、社会科学見学、美術科、社会科学などでの連携授業の展開(米沢市上杉博物館)
- ・施設利用・見学  
年間31件、2,166名 受入
  - ・ミュージアムスクール(学校側が来館し、学芸員が授業に参加したもの)  
年間 9件、274名 受入
  - ・出前授業(博物館側が学校へ資料を持って出向くもの)  
年間 9件、658名

- iii) 視察・見学対応、連携授業の展開（市立米沢図書館）
  - ・施設視察・見学
    - 年間47件、約612名 受入
  - ・出前ブックトーク（図書館側が学校へ出向き本を紹介するもの）
    - 年間 1件、17名
- iv) 学校への各事業周知の徹底、ホームページの充実
- v) 職場体験の受け入れ
  - 米沢市上杉博物館：年間9校（市内中学生、山形大学生）、15名 受入
  - 市立米沢図書館：年間3件（市内中学生、市内高校生、一般）、7名 受入
- vi) 博物館実習の受け入れ（米沢市上杉博物館）
  - 3大学 4名 受入（期間： 8月3日（木）～8月8日（火） ）

⑥展示解説（米沢市上杉博物館）

i) ギャラリートーク

特別展・企画展・コレクション展にあわせたギャラリートークを年間14回開催した。内容は下記のとおり。

【戦国時代展】主任学芸員 阿部哲人

平成29年 5月 6日（土） 14:00 5月20日（土） 14:00  
 5月27日（土） 14:00 6月17日（土） 14:00

【遠藤桑珠展】主任学芸員 遠藤友紀

平成29年 6月24日（土） 14:00 「展覧会の見どころ」  
 7月16日（日） 14:00 「展覧会の見どころ」

【ドールハウス】学芸主査 花田美穂

平成29年 7月29日（土） 11:00 「ドールハウスへの招待」  
 新美康明氏（箱根ドールハウス美術館館長）

【上杉家の名刀】学芸主査 角屋由美子

平成29年 9月23日（土・祝） 14:00 「展覧会の見どころ」  
 10月 7日（土） 14:00 「上杉家の名刀」

【初公開展】主任学芸員 佐藤正三郎

平成29年10月28日（土） 10:00 「展覧会の見どころ」  
 11月18日（土） 14:00 「米沢藩士の仕事と教養」  
 12月 9日（土） 14:00 「昔の正月準備を探る」

【ゆかりの絵師】主任学芸員 遠藤友紀

平成30年 2月 3日（土） 14:00 「展覧会の見どころ」  
 2月24日（土） 14:00 「展覧会の見どころ」

ii) コレクショントーク

「謙信を生んだ一族・長尾氏」を年間テーマとした上杉文華館の展示内容について、国宝上杉家文書をはじめ、古文書等の資料とともに紹介するコレクショントークを年間12回開催した。内容は下記のとおり。

- [ 1 ] 平成29年 4月 2日（日）「室町幕府のもとで①細川高国と」
- [ 2 ] 平成29年 5月 7日（日）「室町幕府のもとで②特権付与」
- [ 3 ] 平成29年 6月 4日（日）「室町幕府のもとで③贈答」
- [ 4 ] 平成29年 7月 9日（日）「為景、越中へ」
- [ 5 ] 平成29年 7月30日（日）「越中の攻略」

- [ 6 ] 平成29年 8月27日(日)「外征の苦悩」
- [ 7 ] 平成29年10月 1日(日)「為景への期待～関東から」
- [ 8 ] 平成29年10月29日(日)「文化交流」
- [ 9 ] 平成29年11月26日(日)「越後武士を支配下へ」
- [10] 平成30年 1月 7日(日)「為景の苦境」
- [11] 平成30年 1月28日(日)「朝廷を頼りに」
- [12] 平成30年 3月 2日(日)「兄晴景」

※解説は主任学芸員 阿部哲人。いずれも14:00から開催。

⑦情報ライブラリーの展開と更新(米沢市上杉博物館)

企画展に関する書籍のコーナーを設置し、蔵書の充実とともに書籍の排架の工夫など、閲覧者の利便性に配慮した。また蔵書の点検と整理作業を行い、図書整理サポーターと協働しながら書庫の整備に努めた。新規受入図書資料数は1,040冊。また、新規コンテンツ「明和六年米沢城下絵図デジタルマップ」を製作した。

⑧特別利用・資料貸与・掲載利用

管理条例に基づき、迅速かつ正確に申請の收受、許諾業務を行った。

i) 米沢市上杉博物館

特別利用の受付と対応	32	件
資料貸出の受付と対応	30	件
寄託資料の一時持出し対応	0	件
市保有近現代美術作品入替作業の出納立合い	2	回
ナセBAオープンギャラリーへの作品の貸出	年間 38	点
よねざわ市民ギャラリー自主事業への作品貸与	5	点
市立米沢図書館郷土資料自主事業への作品貸与	14	点
館蔵資料の掲載および写真貸与許可等の処理(資料管理と連動)	393	件

ii) 市立米沢図書館

図書の一般貸出	419,498	冊
自動車文庫アタゴオルでの図書貸出	38,708	冊
他館との相互貸借における貸出冊数	448	冊
他館との相互貸借における借受冊数	465	冊
古文書・古典籍の閲覧	42	件
古文書・古典籍の撮影	29	件
古文書・古典籍の貸出	4	件
その他特別貸出(禁帯本等)	5	件
館蔵資料の掲載および写真貸与許可等の処理	32	件

⑨レファレンス

各種レファレンスに回答し、来館者サービスを推進した。また、市立米沢図書館では、デジタルライブラリーで公開している資料や画像についての問い合わせにも対応した。

i) 米沢市上杉博物館

各種レファレンスの対応	調査を要するもの	78	件
	来館者・電話によるもの	多数	

ii) 市立米沢図書館			
一般レファレンス	カウンター対応		150件
郷土資料レファレンス	調査を要するもの		137件
	来館者や電話によるもの		多数

#### ⑩市民茶会の開催

##### 「第27回 市民茶会」

開催日：平成29年 6月18日（日） 10：30～15：00

参加者数：212名

日本の伝統文化のひとつである茶道に気軽に親しむことのできる機会として、米沢市茶道連合会の協力を得て米沢市座の文化伝承館の機能をいかした市民茶会を開催した。米沢茶道連合会会員が茶庭や床飾りについて解説し、菓子と抹茶の受け方なども丁寧に教え、幼児を連れた親子や学校茶道部員、米沢に就業している外国人など大勢の初心者が茶道文化に親しんだ。

#### (2) 普及事業

##### ①出版、監修

施設の事業活動に関する書籍・冊子を発行し、協力者や市民に対するPR活動を行った。また、市立米沢図書館では外部団体で発行する冊子を監修した。

##### i) 米沢市上杉博物館展覧会図録の刊行

企画展図録『生誕100年 遠藤桑珠展』（500冊）

特別展図録『上杉家の名刀と三十五腰』（1, 500冊）

コレクション展図録『米沢ゆかりの絵師たち』（500冊）

##### ii) 平成28年度米沢市上杉博物館年報の発行（500冊）

##### iii) 「伝国の杜だより」の発行

第32号、第33号（各5, 500部）

##### iv) 「図書館だより」の発行

第3号、第4号、第5号、第6号（各1, 200部）

##### v) 市立米沢図書館郷土資料報告書の刊行

『米沢の神社・堂宮12－三沢地区－』（250冊）

##### vi) 米沢市上杉博物館教育普及だよりミュージデュウの発行

春・夏・秋・冬号（各18, 000枚）

##### vii) 『絵本読み聞かせハンドブック～本はともだち』（米沢中央ロータリークラブ出版）の監修

##### viii) 事業記録写真などの整理保管

##### ②事業告知活動

広告予算を使った有料媒体のほか、費用のかからない無料媒体を活用し、当財団事業および施設に関するPR活動を行い、入館者増に努めた。

- ・有料、無料の広告媒体を使つてのPR活動を行った。
- ・ホームページ等Web媒体を使つてのPR活動および収蔵品の紹介を行った。特に米沢市上杉博物館ではTwitterアカウントを新設し、リアルタイムで更新される特性をいかして事業告知を行った。
- ・チラシ、ポスター等の媒体を使つてのPR活動を行った。
- ・近隣施設等への直接持参によるPR活動を行った。
- ・中高生の「無料観覧証」や無料入館日、開館延長等に関する案内と周知に努めた。

### ③評価の実施と分析

各事業について内部評価を実施し事業総括に反映させた。  
また、運営協議会委員による外部評価及び来館者アンケートを実施した。

### ④スタッフの育成

定期的に勉強会・講習会を実施し、事業運営における職員のスキルアップを図った。また、来館者対応については、防災訓練や展覧会ごとの展示説明会を実施したほか、心肺蘇生法およびAED使用法に関する救急処置実施講習会に参加し資質の向上に努めた。また、分野ごとの業務の遂行に関する指導等を行った。

- ・定期的な勉強会や研修会の実施
- ・新規採用者の研修

### ⑤収蔵資料の貸出（米沢市上杉博物館）

博物館以外の場所で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくるため、博物館収蔵の美術作品を市内の学校・公共施設に貸し出した。

年間 14件 26点

## 3 資料収集・調査・整理・保管業務

### (1) 資料調査事業

#### ①歴史関連資料（米沢市上杉博物館）

上杉氏および米沢藩関連資料の調査、資料収集に伴う調査を行った。

#### ②美術関連資料（米沢市上杉博物館）

置賜ゆかりの作家についての継続的な調査、資料収集に伴う調査を行った。

#### ③郷土資料（市立米沢図書館）

三沢地区の神社、堂宮の調査を行い、報告書を作成した。

### (2) 図書・資料の収集事業

米沢市の資料収集基本方針に基づき、収蔵資料の充実をはかるために図書・資料・作品の収集活動を行った。

#### ①米沢市上杉博物館

新規受入資料数 : 44件 (約950点)

新規受入図書資料数 : 1,040冊

資料収集検討会議 : 平成29年 7月 7日 (金)、平成30年 2月 7日 (水)

資料収集委員会 : 平成29年 7月20日 (木)

#### ②市立米沢図書館

新規購入図書数 : 7,988冊 (DVD・CDを含む)

寄贈受入冊数 : 1,880冊

選書会議 : 毎月休館日に開催

(3) 図書・資料の整理保管事業

①資料管理データベースに関する作業

「米沢市上杉博物館・市立米沢図書館収蔵文化財総合データベース」について、機能の改善、公開資料の充実や資料情報の訂正、充実につとめた。新規受入資料の登録確認、画像データベースとのリンク構築などを継続して行った。資料のラベリングや登録、追加作業を行い、登録済み資料の画像リンクやラベルプリントなど資料と直結した管理を強化した。また、管理データベース全体の不具合部分の調整も実施した。

市立米沢図書館では、「市立米沢図書館デジタルライブラリー」の更新を継続して行った。

i) 米沢市上杉博物館

- ・新規受入資料のうち41件(107点)の登録、画像データベースとのリンク構築などを行った。
- ・新規登録482点を加え、現在13,151点を公開。

ii) 市立米沢図書館

- ・デジタル化が完了している写真データの整理を行った。
- ・「市立米沢図書館デジタルライブラリー」での公開に向け、図書館サポーターによる翻刻校正作業が完了した「越境記」について、職員の最終校正を経て平成30年度に翻刻を公開する予定。

②収蔵資料の解説、整理(米沢市上杉博物館)

- ・新規収蔵資料の整理(井形朝良旧蔵資料、楡井家文書、丸山家伝来雲井龍雄関係資料他)
- ・資料カード作成とデータ化(竹俣家文書約200点、斎藤文書70点、竹田市太郎旧蔵文書65点、目賀多家資料30点)
- ・細目録の作成(上杉文書の幕末部分約110点)

③収蔵資料の写真撮影(米沢市上杉博物館)

新規受入資料、平成29、30年度開催展覧会出品資料、公開データベース掲載資料の写真撮影を行った。また、収蔵資料の内部管理のために使用する写真の撮影も行った。

④上杉邦憲氏寄託資料整理(米沢市上杉博物館)

資料の整理および外箱のクリーニングを行った。

⑤収蔵資料の修理(米沢市上杉博物館)

歴史資料の修理等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・不動明王八大童子像</li> <li>・蓬田仙助秀実像</li> </ul>		<p>応急処置を行った。 修復者：東北芸術工科大学 (文化財保存修復研究センター)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲井龍雄建白書草稿</li> <li>・宮島誠一郎漢詩 「九月十三夜 憶上杉霜台公」</li> <li>・斎藤篤信書 「一卷楚騷細読 花行普帖間憶」</li> </ul>	各1幅	桐箱を新調した。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲井龍雄宛 甲村休吾誓詞</li> </ul>	1幅	軸先、桐箱を新調した。



美術資料の修理等

・国宝「上杉本洛中洛外図屏風」		鋳金具を修復した。 修復者：半田九清堂
・遠藤桑珠「木通の頃」		額を新調した。
・遠藤桑珠「雲と地平」		画面ひび割れ、剥離の応急処置を行った。 修復者：東北芸術工科大学（文化財保存修復研究センター）
・彫刻資料 阿部誠「バスの中で」	4点組 作品	継続修復を行い、4点全てが完了した。 修復者：東北芸術工科大学（文化財保存修復研究センター 彫刻修復部門）

⑥収蔵・展示区域の環境対策について（米沢市上杉博物館）

生物被害を未然に防ぐ IPM（総合的有害生物管理）を年間通して取り組んだ。

- ・エリア区分による段階的管理
- ・粘着トラップの設置
- ・展示ケース内アートソープ入替え
- ・作品のクリーニング
- ・空気環境調査
- ・毎月の定期清掃
- ・害虫の防除
- ・定期的な温湿度測定
- ・新収蔵資料の燻蒸
- ・一般、特別収蔵庫のクリーニング

⑦収蔵資料の複製作成（米沢市上杉博物館）

展示・貸出頻度が高く劣化が心配されるため、下記資料の複製を作成した。

・国宝上杉家文書 「上杉景勝自筆腰物目録」	1通2紙	作成者：大塚巧藝社
・国宝上杉家文書 「上杉輝虎願文」 「徳川家康起請文」	各1通	

⑧資料の除籍・廃棄（市立米沢図書館）

亡失や汚破損等で不要となった資料について、条例・規程に基づき、除籍・廃棄を行った。

図書、雑誌、AV資料： 1, 877点

新聞：毎日新聞 平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日分  
 読売新聞 平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日分  
 産経新聞 平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日分  
 河北新報 平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日分  
 スポーツ報知 平成27年 4月 1日～平成29年 3月31日分  
 日刊スポーツ 平成28年 7月 1日～平成29年 3月31日分

#### 4 芸術文化活動の支援・鑑賞事業

##### (1) 置賜文化ホール米沢市共催事業

米沢市から置賜文化ホール自主事業共催負担金を受け、以下の事業を実施した。

市民の芸術文化活動を支援し、また身近な文化施設として利用の促進につながるよう、博物館事業とも連携しながら公演を開催した。施設の特長をいかしたプロ公演の他、市民ミュージカル事業を米沢市から引継ぎこれを支援した。

##### ①山形交響楽団ユアタウンコンサート2017 米沢公演

公演日：平成29年 4月22日（土） 16：00開演

来場者数：376名

共催：山形交響楽協会

ソプラノ歌手の小林沙羅をソリストに招き、山形交響楽団のコンサートを行った。昨年度に続き、当日開場前の能舞台上でのウェルカム演奏と、公演終了後のエントランスでの交流会を開催し、より来場者の満足度が高い演奏会を開催することができた。米沢東高校音楽部声楽班の生徒たちをコンサートに招待した。

##### ②よねざわ市民ミュージカル伝国座 オリジナルミュージカル「梵天丸」

公演日：平成29年 5月20日（土） 17：30開演

5月21日（日） 14：00開演

来場者数：1,056名

米沢市による伊達政宗生誕450年事業として、米沢で幼少期を過ごした政宗のエピソードを舞台化し、チケットを完売することができた。ミュージカル作家の梶賀千鶴子氏の脚本や演出、市民による出演、米沢織を用いた舞台創作などが事前に話題を呼び、当日の来場者からは再演を望む声が多く上がった。

##### ③春風亭昇太・林家たい平二人会

公演日：平成29年 7月23日（日） 14：00開演

来場者数：499名

テレビで人気の落語家による二人会。一目見たいという来場者が市内だけでなく県外からも殺到し、チケットは発売からわずか2日間で完売した。当日は時事ネタを盛り込んだ古典落語や、番組の裏側をマクラにした新作落語で大いに盛り上がった。

##### ④AKASAKA 木管五重奏団

公演日：平成29年 8月19日（土） 13：30開演

来場者数：215名

日本を代表するクラリネット奏者赤坂達三を中心とした木管五重奏団によるコンサートを開催した。市内の吹奏楽関係者、特に学校吹奏楽部を中心に広報を行ったが、夏休み明けすぐの公演ということもあってか効果的な集客につながらなかった。楽器に関する話や、舞台上での観客とのハンドベル共演プログラムが好評で、満足のいく催しとなった。

##### ⑤おきたまの秋空に響け！吹奏楽の日コンサート2017

公演日：平成29年10月 7日（土） 10：00開演

来場者数：1,657名

共催：置賜地区吹奏楽連盟

アンサンブル演奏、吹奏楽団大編成など多様な吹奏楽サウンドを屋内外で響かせた。会場の事情から恒例の第1日曜に開催できず変更しての開催となかったが、出演団体がSNS等

でコンサート情報を拡散するなどして連携し、出演者数、来場者数とも平年並みとなり、成功裏に終えることができた。

⑥レ・タンブル&ハルモニア・レニス イタリアとスペインのバロック音楽

公演日：平成29年11月 3日（金・祝） 15：00開演

来場者数：200名

日本とヨーロッパで活躍する古楽アンサンブルを招き、リコーダー、ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロ、オルガンの編成による公演を開催した。1600年代のイタリアとスペインのバロック音楽ということで、米沢出身の武将支倉常長とも関連づけた広報を行った。馴染みの薄い楽曲だったが、美しい音楽と客席や舞台裏などでの演奏という舞台効果、演奏終了後の舞台上での古楽器デモンストレーションにより、大変有意義な時間となった。

⑦アキラさんとまこと君 ふたりのオーケストラ

公演日：平成30年 1月28日（日） 14：00開演

来場者数：316名

作曲家でピアニストの宮川彬良とサクソフォン奏者の平原まことによるトークコンサートを開催し、ジャズや映画音楽、童謡など誰もが一度は耳にしたことのある曲を演奏。多才な二人ならではのユーモアあふれる解釈で来場者を楽しませた。一方、吹奏楽愛好者で編成したオリジナル楽団により宮川氏本人の指揮で演奏した「宇宙戦艦ヤマト」関連曲も好評を博した。

⑧市民ミュージカル育成事業

指導日：平成30年1月～平成30年3月まで計8回

米沢市民を中心に隣接地域の住民が参加している市民ミュージカルの活動周知、ならびにプロの講師派遣を行い、市民ミュージカル活動を支援した。また、年度末成果発表会を初めて開催し、オリジナルミュージカル「梵天丸」への出演後、練習を重ねた1作品を訪れた多くの市民に披露した。

(2) 置賜文化ホール山形県補助事業

山形県から置賜文化ホール事業費補助金を受け、以下の事業を実施した。「文化の薫り高い置賜の創造」を掲げる置賜地域の中核文化施設として定着していくことを目指し、施設の機能強化を図りながら実施した。

◇地域文化力育成事業

地域住民の芸術文化活動支援のため、置賜在住および出身者への公演機会の提供とともにPR活動を行い、施設の賑わいと利用のきっかけづくりを行った。

①Jazz Café Live～東北中央自動車道開通記念～ Miya「風の族（ウカラ）」

公演日：平成29年10月29日（日） 18：30開演

来場者数：81名

南相馬の神楽に参加するなど福島と関東を活動拠点としているジャズ・フルート奏者Miyaが、在京のミュージシャン仲間を率いて自身オリジナルの相馬盆唄などを披露した。高速道路の開通を祝い隣県福島をより身近に感じるライブとなった。

②ファミリーコンサート～伝国の杜オーケストラとあそぼう～

公演日：平成30年 3月 4日（日） 14：00開演

来場者数：323名

高校生、大学生、社会人の各オーケストラが母体となり伝国の杜オーケストラを結成。一般公募メンバーも加わりコンサートを開催した。オーケストラ・メンバーが企画段階から参画し、本番指揮者による合同練習会や、楽器に触れられる体験コーナーの計画、山響による弦楽講習の実施など、出演者と観客双方の満足度の高い事業にすることができた。

#### ◇能楽関係事業

施設の特長をいかし、藩政時代より現代に継承されてきた能楽の普及を図った。一方でこども狂言の育成に取り組み、地域に活動を紹介することでも能楽振興に貢献した。

##### ①平成29年度山形県能楽の祭典

公演日：平成29年 9月10日（日） 9：30開演

来場者数：90名

共催：山形県能楽協会

山形県内の能楽愛好家による発表の場を設け、各団体の研鑽と交流の場を提供した。山形小の会の協力のもと、能楽器の体験コーナーを設けて能楽の面白さを来場者に伝える取り組みを行った。こども狂言クラブも出演し団体全体の交流の輪は広がったが、広報に大きな課題を残した。

##### ②五人囃子の世界 ～謡と囃子と、ときどき舞と～

公演日：平成30年 3月 7日（水） 18：30開演

来場者数：56名

東京、京都で活躍する能楽師による謡と囃子を中心とした能楽のイベント。米沢藩の時代から金剛流の謡と仕舞が継承されている米沢で、謡に囃子が加わった五人囃子の魅力を伝えた。休憩中には能楽器体験コーナーを設置し、能楽の初心者の方々からも大変好評な催物となった。

##### ③伝国の杜こども狂言クラブ

稽古：平成29年5月から30年3月まで14回開催

発表：平成29年5月から30年3月まで6回出演（館内5回、館外1回）

5月、7月、9月、10月、2月、3月

参加者数：13名

昨年度から引き続き幼児コースを設けて、5歳から6歳までの未就学児たちに狂言の所作、小舞「兎」の稽古をつけ、3月の発表会に出演した。より低い年齢から子どもたちに狂言の面白さを紹介することができた。

#### (3) 米沢市市民文化会館米沢市共催事業

芸術、文化、レクリエーションに触れる機会を提供し、その普及振興を図り、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する公演を開催した。

##### ①米沢市市民文化会館子育て支援事業 ズーラシアンブラス「音楽の絵本」

公演日時：平成29年 9月 2日（土） 11：00開演

入場者数：745名

ズーラシアンブラスと弦うさぎによる親子向けのコンサート。クラシックの演奏と子どもが楽しめる演出がとても好評だった。

②米沢市市民文化会館にぎわいづくり支援事業 DRUM TAO「SPECIAL LIVE 2018」

公演日時：平成30年 2月 6日（火） 19：00開演

入場者数：960名

人気和太鼓集団 DRUM TAO によるパフォーマンスに魅了され、大雪の中ではあったが当日は満席に近い状態となった。また終演後にはサイン会及びグッズ販売が行われ、来場者にとっても満足度の高い公演となった。

(4) 米沢市民ギャラリー自主事業

月に1回の図書館休館日（第4木曜日）を利用して、市民ギャラリー展示室にて、プロ演奏者によるもの4回・アマチュア演奏者によるもの3回、計7回開催。当初からのコンセプトは木曜日にちなみ、“ Woody = 木の（ような） ” コンサートと名付けるものであったが、木管楽器のみならず、鍵盤楽器、弦楽器、金管楽器、合唱など多様な内容からなる演奏会となり、まちなかのにぎわいづくりの一助ともなった。

①第6回 「歌とピアノとフルートと」

開催日：平成29年 6月22日（木）19：00～

来場者数：102名

②第7回 「プラハの思い出～フルートの響き」

開催日：平成29年 7月27日（木）19：00～

来場者数：92名

③第8回 「ヴァイオリンとピアノの夕べ～季節（とき）の移ろいにメロディをのせて～」

開催日：平成29年 8月24日（木）19：00～

来場者数：103名

④第9回 「チェロの響き ピアノの調べ ～秋の夜長に至福の時間（とき）を～」

開催日：平成29年 9月28日（木）19：00～

来場者数：90名

⑤第10回 「木管五重奏」

開催日：平成29年10月26日（木）19：00～

来場者数：54名

⑥第11回 「ユーフォニアム四重奏」

開催日：平成29年11月24日（金）19：00～

来場者数：130名

⑦第12回 「Fresh★Ensemble」

開催日：平成30年 1月25日（木）18：00～ 悪天候により中止

⑧第13回 「春よ来い」

開催日：平成30年 3月22日（木）19：00～

来場者数：86名

(5) 米沢市座の文化伝承館自主事業

「フルートと手作り楽器によるちいさなコンサート」

開催日：平成29年10月15日（日）

第1回 13：00～、第2回 15：00～

来場者数：合計39名

蔵で、フルートとピアノを中心とするコンサートを開催した。演奏者の阿部太彦氏は、フルート奏者の他、雅楽隊の龍笛も担当する奏者として知られる一方、手作り楽器製作者

としても活躍。コンサートでは、雑貨を用いた楽器とフルート、ピアノ、海外のおもちゃ楽器のコラボなど、工夫を凝らした演奏に驚きの声や拍手がおくられた。

## 5 芸術文化活動のための施設貸与事業

### ①米沢市座の文化伝承館

貸出業務は、貸出基準に照らし適正に貸与した。また、利用者のニーズを把握し、利用促進に努めた。施設の利用の促進が地域文化の底上げにつながることから、施設情報のPRに努めた。

利用件数： 270 件

利用者数： 5,155 名

### ②よねざわ市民ギャラリー

市民の多様な芸術文化活動の成果発表の場として、第1～9展示室、体験学習室を貸与した。さまざまな分野の作品に合わせ展示ができる施設の機能を活かし、絵画作品や書道、写真等の平面作品、また彫刻や生け花といった立体作品等の発表にも活用された。

さらに、米沢織きもの展示販売会や山形県表装内装展、石彫刻によるインスタレーションなど、これまでの市民ギャラリーでは開催できなかったジャンルの展示も行われた。

体験学習室についても、地域美術部ヨネザワザワや米沢雪灯籠まつり竹あかりのワークショップをはじめ、保育士・幼稚園教諭向けのリトミックセミナー、その他講師のための勉強会など幅広く利用があった。

#### ◇展示室

年間利用件数： 74件

利用者数： 53,019名

#### ◇体験学習室

年間利用件数： 49件

利用者数： 1,600名

## 6 サポーター運営事業

### ①伝国の杜サポーター運営事業

インフォメーション、広報、レセプション、教育普及、洛中洛外図屏風案内、図書整理の各分野における定期的な活動のほか、博物館講演会や市民茶会などの事業補助、花壇の整備のような職員が行ってきた部分をサポートする場面が見られた。館外でも事業のロコミを広め、知人を誘い自らサポーター勧誘を行うなど、活躍の場が広がる一年となった。全体研修は、伝国の杜ファンクラブ事業との連携により県外へ研修に出かけることができた。

登録数： 29名

研修会：伝国の杜ファンクラブ事業と連携して開催

「生誕450年記念伊達政宗展」&「フィンランド・デザイン展」見学会

日時 平成29年11月12日（日） 参加者数 8名

### ②図書館サポーター運営事業

日々の活動としての書架整理、返本作業、修理等のサポートに加え、子ども向けの読み聞かせでは「おはなしかい」や「ブックスタート」などに参加いただいた。また勉強会として、「おはなしかい」へ参加する方と読み聞かせについて意見交換を行った。その他、平成29年1月に開始した郷土資料のサポートでは、古文書の翻刻および翻刻の校正作業、「上杉文書」・「米沢新聞」のマイクロフィルムからのデジタル化作業などを協働し進めている。

登録数： 66名

## Ⅱ 収益等事業1 ミュージアムショップ事業

- ・来館者にとって魅力あるショップを目指し、日常の業務を適正に行った。
- ・展覧会会期中の販売品目の選定、陳列など、時宜に応じた運営を行った。
- ・来館者のニーズに対するマーケティングリサーチを行い、地元企業などとの連携を図りながら新規商品の開発について検討した。
- ・より広範囲への商品販売と施設の告知を狙いインターネットでの販売を継続した。また新規開設した博物館の Twitter アカウントでの情報発信も行った。
- ・市立米沢図書館と連携し、博物館の展覧会図録や図書館の郷土資料刊行物等出版物を相互に販売した。
- ・オリジナル商品に関する開発等の実績  
新規商品 3 商品  
(刀 剣 関 連 商 品 : ポスター、米織刀紋トートバック、米織刀紋ブックカバー)  
再販商品 1 2 商品  
(洛中洛外図関連商品 : Tシャツ、マグネット、ペーパーウエイト  
上杉氏関連商品 : マグネット、ストラップ、キーホルダー、手拭い  
そ の 他 の 商 品 : ポストカード、米織小紋商品、ぐい呑み 他)

## Ⅲ 収益等事業2 施設貸与事業

### ①米沢市上杉博物館会議室

米沢市から指定管理事業として受託する米沢市上杉博物館会議室の貸出業務について、貸出基準に照らし適正に貸与した。また、利用者のニーズを把握し、利用促進に努めた。

平成29年度の利用者数は以下のとおりであった。

利用件数 : 275 件

利用者数 : 6,253 人

### ②米沢市まちなか駐車場

指定管理初年度であった米沢市まちなか駐車場の貸出業務について、貸出基準に照らし適正かつ円滑な管理運営に努めた。

平成29年度の利用台数は以下のとおり。

利用台数 : 128,659 台

## IV 収益等事業3 伝国の杜ファンクラブ事業

平成29年度の入会者数は以下のとおり。会員向け事業として初めてバスツアーを開催し、好評であった。

会員数：368名

内 訳：一般 311名、学生 35名、ジュニア 22名

会員に対しては下記の事業を行った。

- ・会報及び財団自主事業情報の送付
- ・米沢市上杉博物館常設展示室・企画展示室への入館特典の付与。
- ・置賜文化ホール主催事業の先行予約・割引販売（一部公演除く）
- ・ミュージアムショップにて展覧会図録・オリジナル商品の10%割引販売
- ・ファンクラブ会員限定事業の開催

「生誕450年記念伊達政宗展」&「フィンランド・デザイン展」見学会

日 時：平成29年11月12日（日）

参加者数：32名（会員25名、同伴者7名）

※伝国の杜サポーター研修と連携して開催

## V 管理部門

指定管理者として管理・運営を行う施設について、関連法令及び諸規程、契約・協定を遵守し、適正に管理を行った。

公益財団法人米沢上杉文化振興財団における理事会を2回（通常）、評議員会を1回（定時）、理事・評議員合同会議を1回行った。

また、米沢市上杉博物館と置賜文化ホール自主事業、市立米沢図書館とよねざわ市民ギャラリーについて、その事業等の質、来館者の利便性、利用率の向上等を達成するために、第三者から幅広い意見をを得る場である運営協議会を年2回ずつ開催し、委員からは管理・事業運営全般にわたり様々な意見が出された。

### 【理事会】

#### ①通常理事会

開催日時：平成29年 5月26日（金） 13：30～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

報告第1号 平成29年3月24日理事会以降の職務執行状況について

第1号議案 平成28年度事業報告及び附属明細書の承認について

第2号議案 平成28年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について

第3号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団定款の変更について

第4号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

第5号議案 定時評議員会に提出する監事の補欠選任に関する事項について



## ②通常理事会

開催日時：平成30年 3月23日（金） 15：00～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

### 議事

報告第1号 平成29年5月26日理事会以降の職務執行状況について

第1号議案 公益財団法人認定の変更届について

第2号議案 平成30年度事業計画書（案）の承認について

第3号議案 平成30年度収支予算書（案）の承認について

第4号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団組織規程の一部を改正する規程について

第5号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団文書管理規程の一部を改正する規程について

第6号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団財務規程の一部を改正する規程について

## 【定時評議員会】

開催日時：平成29年 6月10日（土） 15：00～

開催場所：伝国の杜大会議室

### 議事

報告第1号 平成28年度事業報告及び附属明細書について

第1号議案 平成28年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について

第2号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団定款の変更について

第3号議案 監事の補欠選任について

その他

## 【理事・評議員合同会議】

開催日時：平成29年 6月10日（土） 定時評議員会終了後

開催場所：伝国の杜大会議室

## 【伝国の杜運営協議会】

### ①第1回

開催日時：平成29年 7月13日（木） 10：00～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

### 議事

i) 平成28年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営自己評価について（報告）

ii) 平成29年度 米沢市上杉博物館・置賜文化ホールの子な事業について（報告）

iii) 米沢市上杉博物館や置賜文化ホールで観たいテーマや公演について（意見聴取）

iv) ミュージアムショップ事業について（意見聴取）

v) その他

### ②第2回

開催日時：平成29年12月19日（火） 13：30～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

- i) 第1回伝国の杜運営協議会の意見要望に対する取り組みについて（報告、質疑）
- ii) 平成29年度財団運営中間内部評価について（報告、質疑）
- iii) 平成30年度米沢市上杉博物館・置賜文化ホールの開催予定事業について（報告）
- iv) その他

【ナセBA運営協議会】

①第1回

開催日時：平成29年 7月 4日（火）15：00～

開催場所：ナセBA体験学習室

議事

- i) 平成28年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営自己評価について（報告）
- ii) 平成29年度 市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーの主な事業について（報告）
- iii) 開館して1年のナセBAに望むこと、期待すること（意見聴取）
- iv) その他

②第2回

開催日時：平成30年 1月26日（木）15：00～

開催場所：ナセBA体験学習室

議事

- i) 第1回ナセBA運営協議会の意見要望に対する取り組みについて（報告、質疑）
- ii) 平成29年度財団運営中間内部評価について（報告、質疑）
- iii) 平成30年度市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーの開催予定事業について（報告）
- iv) その他